

ネットイーグル

断面図の断面図→2次断面図入力

勾配面を自在に編集 複雑なトラスも効率的に

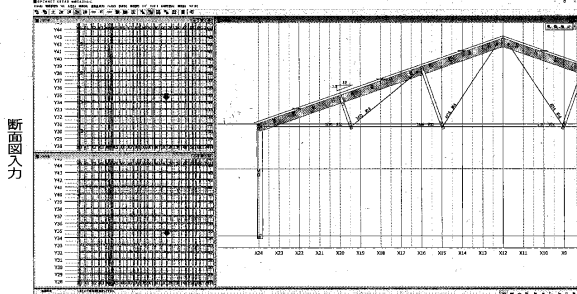
ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)はATAハイブリッドトラス構法に対応したプレカットCAD/CAMシステムで、勾配面となるトラスの「振れ止め」を通り断面で確認しながら入力できる「2次断面図入力」機能を開発した。垂直でない断面を自在に編集する機能で、複雑なトラスも効率的に入力できる。垂直面の断面図入力機能に続いて業界で初めて、ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材(圧縮材)と丸鋼の下弦材(引っ張り材)を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40mまでの大スパンを実

現できるのが特徴で、コスト競争力が高く、一般のプレカット工場で加工できる中大規模建築構法として採用事例が増えている。

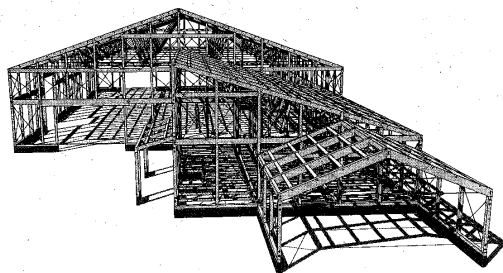
トラスの振れ止めは束と束を斜材でつなぐ。トラスの束材(斜材)は独自開発の断面図入力機能で容易に入力できるが、斜材と斜材をつなぐ振れ止めは勾配面となるため、断面図入力機能が使えない。そこで開発したのが断面図から断面図を切り出す2次断面図入力機能で、振れ止めは木材でも丸鋼でも入力でき、屋根面でも入力できる。

ソフトは同社のプレカットCAD「Xstar」に対応。アークデータ研究所の構造計算ソフトASTIMと連動し、同ソフトでトラス解析、部材断面算定、構造計算を実施したデータを読み込める。

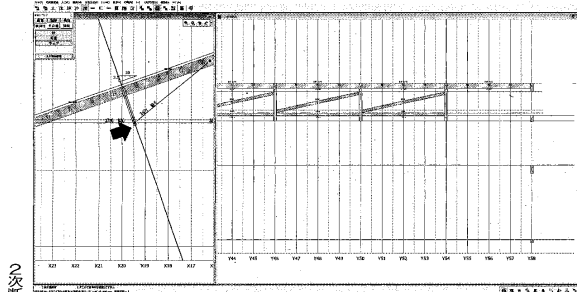
ルールに従ってコンピューターが自動で計算するため、大型物件にありがちな設計変更にも迅速に対応できる。リアル加工パス図で全体の収まりから細部の加工形状まで実物に忠実に表現でき、任意の領域を選択すると部分パスも作成できる。クレビスと木材、丸鋼とボルト、パイプなどの干渉も自在にチェックできる。



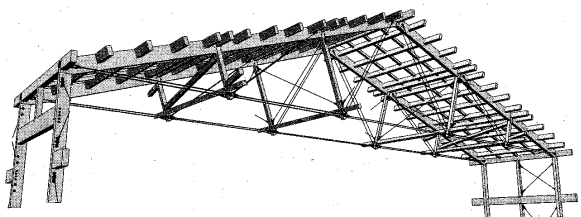
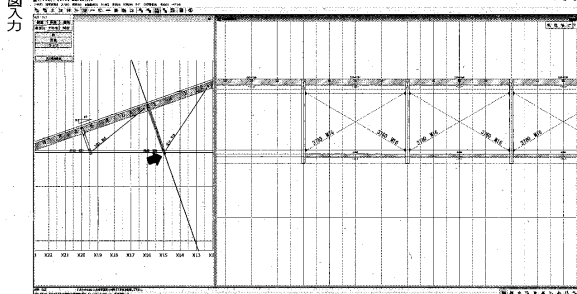
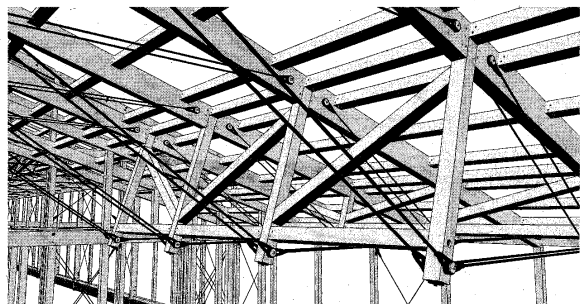
断面図入力



全体パス図



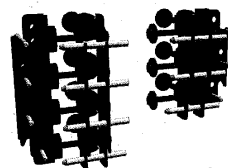
2次断面図入力



部分パス図



構造プレカットCAD
OPEN-NET Xstar
ATAハイブリッド構法



業界初!
断面図入力
+
2次断面図入力

先進システムで未来を切り開く

NET EAGLE
ネットイーグル株式会社
<http://www.neteagle.co.jp>

本社
〒819-0001
福岡市西区小戸
3-54-50
050-3536-5961

中部テクノセンター
〒483-8213
愛知県江南市古知野町
朝日165 ナガタニビル3階
050-3538-0221

東京CADセンター
〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-4
オアゼネクス芝浦5階
050-3533-2894